

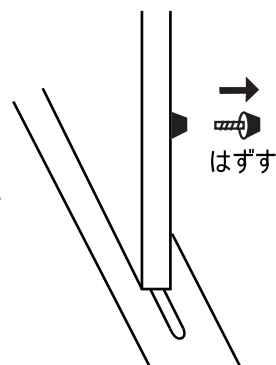
## 扉調整手順

この度は、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
 永く愛用頂けますように、この商品には扉の反りを矯正させる金具が付いて  
 おりますので、反りによってスムーズに動かない場合は、下記の手順に基づき  
 調整を行って下さい。  
 (※引き戸の扉は環境の変化や、年月が経つにつれて反る場合があります。)

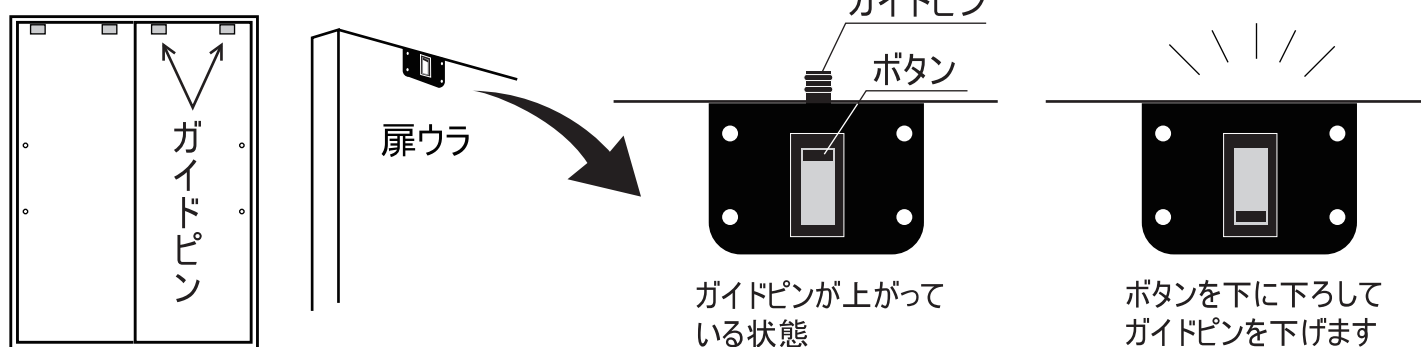
### <扉の外し方>

①ドライバー等で、ハンドルを外します。

②手前側の扉裏に付いているゴムのストッパーを外します。  
 (1ヶ所、または2ヶ所)

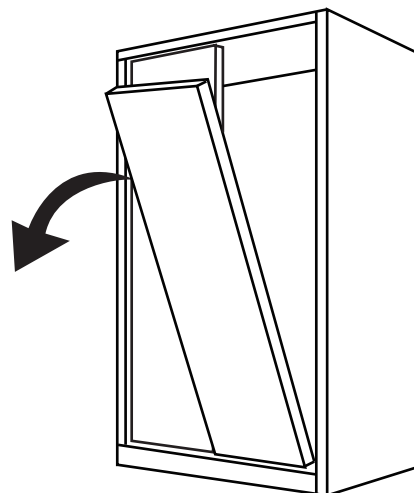


③手前扉の戸ウラ上部に付いているガイドピンを下げます。



※注意…ガイドピンを下げると扉が倒れてきますので、片方の手で必ず支えておいて下さい。

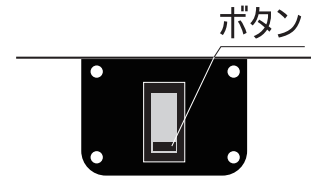
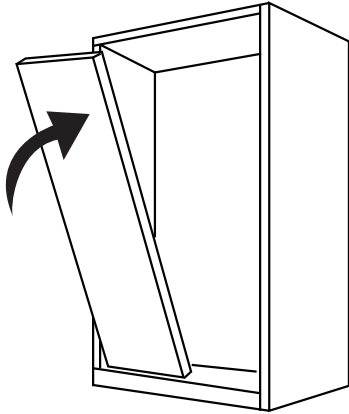
④上の方から倒すように扉を外します。



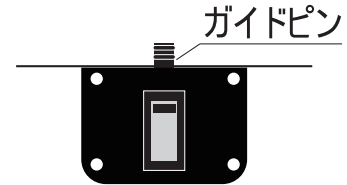
⑤ ④⑤と同じ要領で奥側の扉を外します。

⑥ ④⑤を逆の要領で扉を付けます。

※注意…下ローラーが下レールにしっかり収まっているかを確認しながら静かに置きます。



※上レールの位置に合わせてボタンを押しピンを出します。  
(その際ピンがレールの溝にしっかりと入っている事を確認して下さい。)



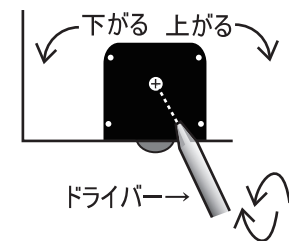
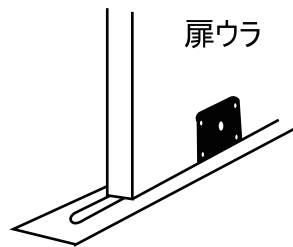
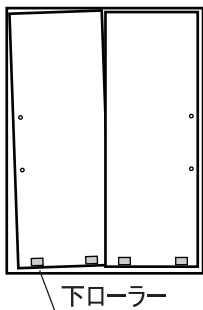
⑦不具合を防止するために、敷板等で本体を水平にして下さい。



## <扉の水平方向の調整方法>

⑧扉を付けた後、下ローラーで扉の傾きを調整します。

・下図のように左扉が下がっている場合、左ローラーを上げるか右ローラーを下げます。  
(右扉も同じです。)



※注意…下ローラーを回す際、抵抗があり過ぎる場合(かたい場合)は、それ以上回りませんので回し過ぎに注意して下さい。ローラーの破損の原因となります。

※注意…下ローラー調整の際、内部の引出しが邪魔して調整が出来ない場合がありますので、あらかじめ引出しを①の要領で外しておくことで作業がしやすくなります。

⑨扉ウラのゴムストッパーを付けます。(③で外したもの)

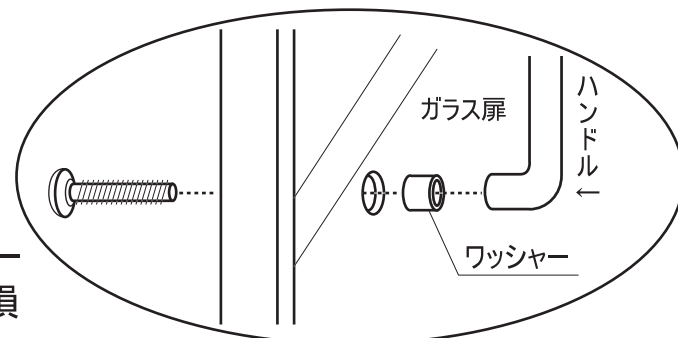
※注意…しっかりと絞め込んで下さい。



⑩ハンドルを取り付けます。(②で外したもの)

※注意…しっかりと絞め込んで下さい。

※注意…ガラス扉のハンドルを外した場合、ワッシャーを付け忘れないようにご注意下さい。(破損の原因となります。)



## 扉調整手順

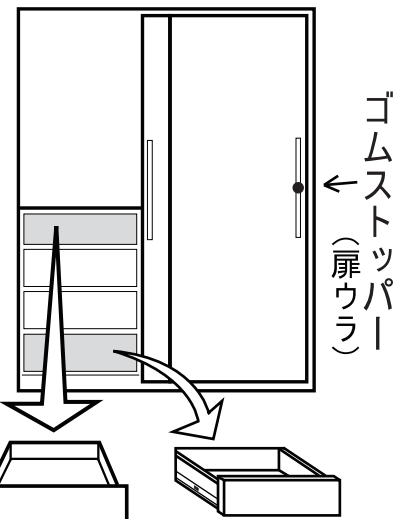
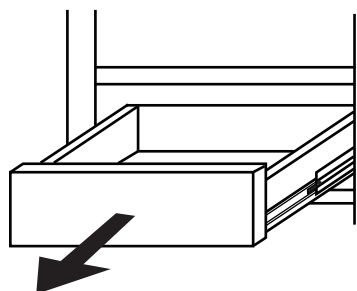
この度は、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
 永く愛用頂けますように、この商品には扉の反りを矯正させる金具が付いて  
 おりますので、反りによってスムーズに動かない場合は、下記の手順に基づき  
 調整を行って下さい。

(※引き戸の扉は環境の変化や、年月が経つにつれて反る場合があります。)

### <扉の外し方>

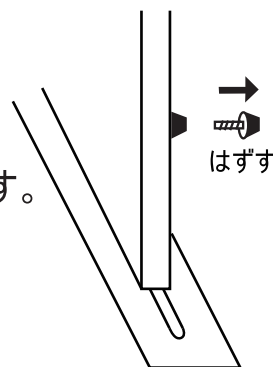
- ① ハンドルの取り付けビスの位置に合わせて引出しを外します。(ハンドルを取り外し易くする為)

※外し方は別紙の”引出の取り外し・取り付け方”を参考にしてください。

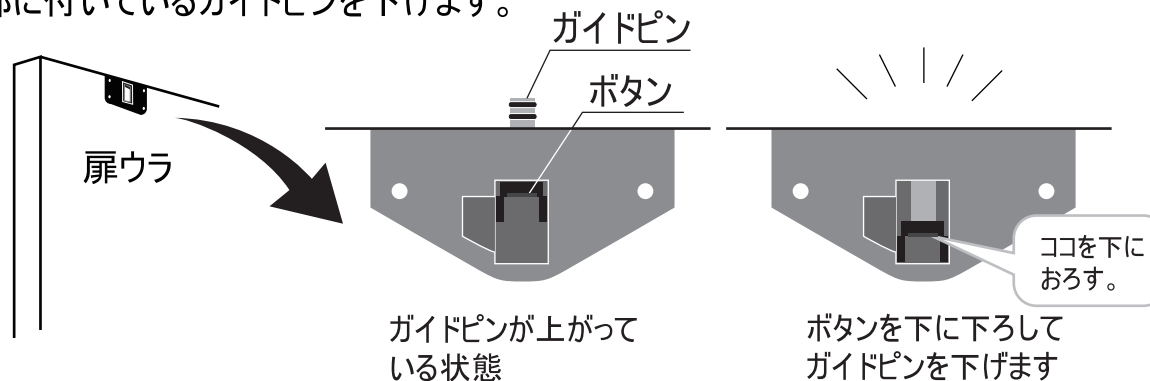
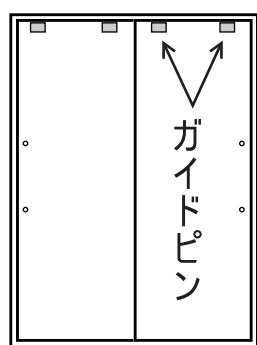


- ② ドライバー等で、ハンドルを外します。

- ③ 手前側の扉裏に付いているゴムのストッパーを外します。  
 (1ヶ所、または2ヶ所)

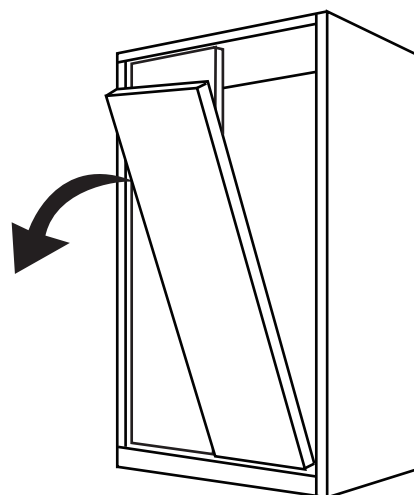


- ④ 手前扉の戸ウラ上部に付いているガイドピンを下げます。



※注意…ガイドピンを下げると扉が倒れてきますので、片方の手で必ず支えておいて下さい。

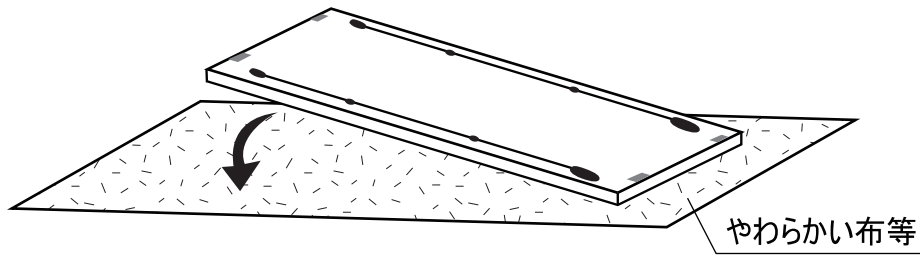
- ⑤ 上の方から倒すように扉を外します。



- ⑥ ④⑤と同じ要領で奥側の扉を外します。

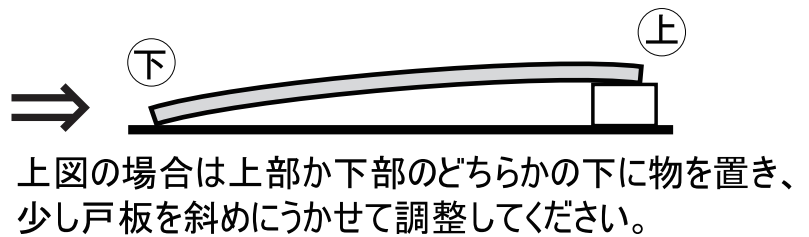
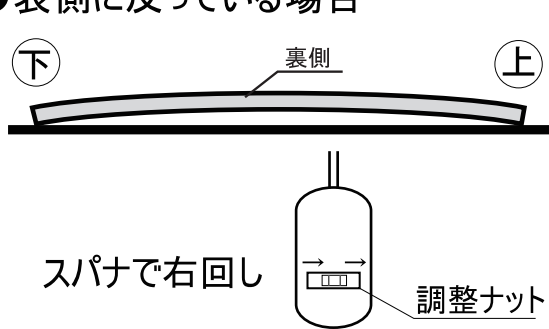
〈反り調整の方法〉 ※短い扉やアルミ扉には反り矯正金具は付いていません。

⑦反り調整をしたい扉を床に伏せるようにして静かに置きます。  
その際、扉の表面にキズ・汚れがつかないようにカーペットのような敷物の上に置く事をおすすめします。

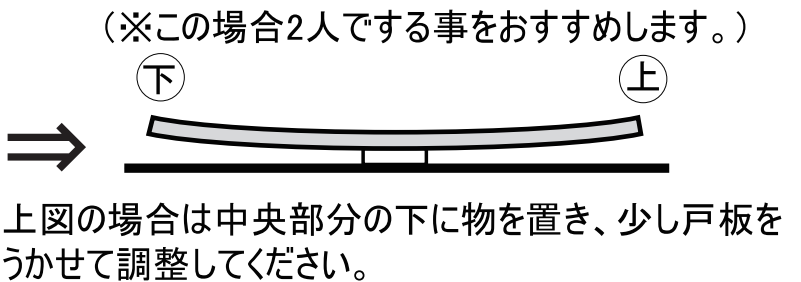
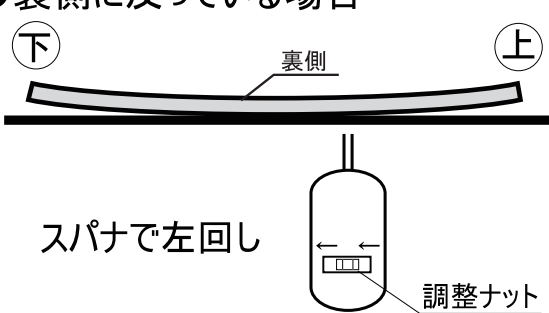


⑧扉反り矯正…下記の要領で調整を行って下さい。(左右2ヶ所)  
(※回し始めの際、かたい場合があります。)

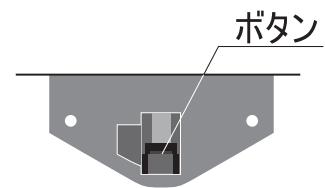
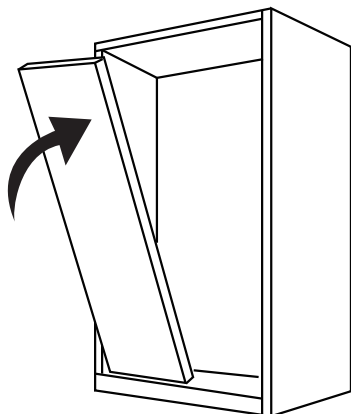
●表側に反っている場合



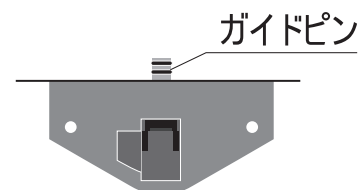
●裏側に反っている場合



⑨扉の反り矯正を施した後、④⑤を逆の要領で扉を付けます。  
※注意…下ローラーが下レールにしっかり収まっているかを確認しながら静かに置きます。



※上レールの位置に合わせてボタンを押しピンを出します。  
(その際ピンがレールの溝にしっかりと入っている事を確認して下さい。)



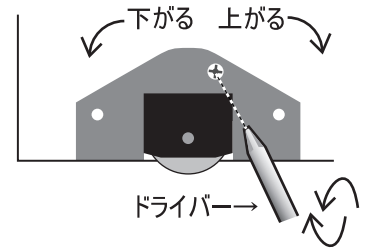
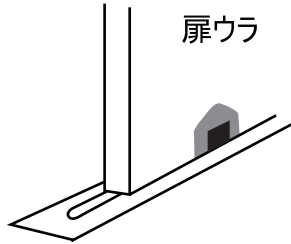
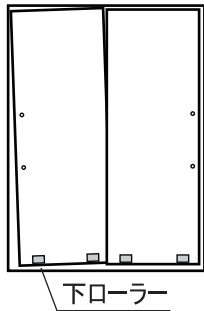
⑩不具合を防止するために、敷板等で本体を水平にして下さい。



## ＜扉の水平方向の調整方法＞

⑪扉を付けた後、下ローラーで扉の傾きを調整します。

- ・下図のように左扉が下がっている場合、左ローラーを上げるか右ローラーを下げます。  
(右扉も同じです。)



※注意…下ローラーを回す際、抵抗があり過ぎる場合(かたい場合)は、それ以上回りませので  
回し過ぎに注意して下さい。ローラーの破損の原因となります。

※注意…下ローラー調整の際、内部の引出しが邪魔して調整が出来ない場合がありますので、あ  
らかじめ引出しを①の要領で外しておく作業がしやすくなります。

⑫扉ウラのゴムストッパーを付けます。(③で外したもの)

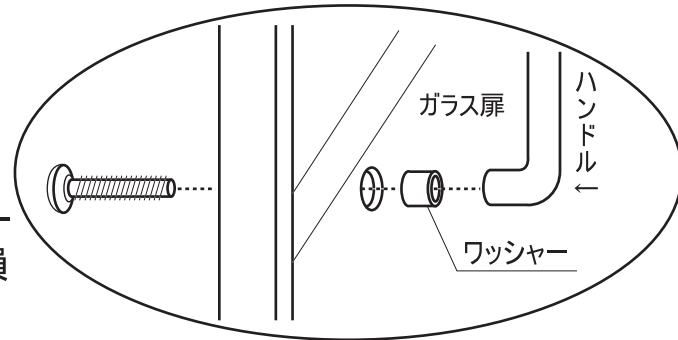
※注意…しっかりと絞め込んで下さい。



⑬ハンドルを取り付けます。(②で外したもの)

※注意…しっかりと絞め込んで下さい。

※注意…ガラス扉のハンドルを外した場合、ワッシャー  
を付け忘れないようにご注意下さい。(破損  
の原因となります。)



⑭引出しを取り付けます。(①で外したもの)

※取り付け方は別紙の”引出の取り外し・取り付け方”を参考にしてください。